デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示／2026 年 11 月 24 日（火）　発行：ていネコの投資ノート

本日のポイント

- **最重要：**ワコム（6727）が MBK パートナーズ系と組んだ MBO を公表。TOB 価格 1,030 円は 20 日終値 665 円比＋54.9%（筆者算出）。一方、I-ne（4933）の MBO は TOB 価格 2,248 円が 20 日終値を約 8.8%下回る「ディスカウント TOB」で、明暗が分かれました。
- **全体の傾向：**連休前の 20 日（金）夕方に MBO2 件、エムスリーの約 500 億円の自社株 TOB、NTN と日本精工の経営統合の最終契約が集中。非公開化・資本関係の見直しの流れが続いています。
- **株主の注意点：**I-ne は TOB 期間が本日 11 月 24 日に始まり 2027 年 1 月 8 日まで。TOB 成立を条件に期末配当は無配に修正され、株主優待も廃止されます。応募するか、市場で売るか、持ち続けるかを、成立時に配当・優待がなくなる点も含めて比べる必要があります。

1．本日の主な開示

種類	コード	会社名（市場）	概要	株主への影響
MBO（予告 TOB）	6727	ワコム（プライム）	MBK パートナーズ系の MP-2611 が 1 株 1,030 円で TOB 予定（20 営業日、下限 88,349,600 株、上限なし）。井出社長も参加。開始日は未確定で 2027 年 2 月中旬が目安（許認可が前提）	20 日終値比＋54.9%（筆者算出）。TOB 後に非公開化・上場廃止の見込み。監理銘柄に指定
MBO（TOB 開始）	4933	I-ne（プライム）	インテグラル系のジャンボが 1 株 2,248 円で TOB。期間 11/24～2027/1/8。下限なし。創業家側は応募しない	20 日終値比−8.8%（筆者算出）。TOB 成立を条件に期末配当 8 円→無配、株主優待は廃止。取締役会は賛同・応募は中立
経営統合（最終契約）	6472／6471	NTN／日本精工（ともにプライム）	共同持株会社「NTN 日本精工」を株式移転で設立。比率は日本精工 1：NTN0.353。統合日 2027 年 10 月 1 日	両社株は 2027 年 9 月 29 日に上場廃止見込み、新会社株に自動的に切り替え。2027 年 6 月の株主総会で承認予定
自社株 TOB	2413	エムスリー（プライム）	1 株 1,619 円、上限 3,088 万 3,161 株（約 4.6%）・約 500 億円。期間 11/24～12/21。ソニーグループが買付予定数と同数の応募意向を表明。取得株は消却	20 日終値を約 3.7%下回る価格。一般株主も応募できるが、応募が上限を超えると按分。会社は資本効率の改善を目的としている
株式分割・優待変更	4124	大阪油化工業（スタンダード）	12 月 31 日基準で 1 株→3 株に分割。優待を QUO カード 5,000 円分から、半年以上保有を条件にデジタルギフト 1 回当たり 1,500～6,000 円分（年 2 回、2027 年 3 月末基準から）に変更	最低投資額が約 3 分の 1 に。分割自体で資産価値は変わらない。優待は継続保有の条件に注意
その他	—	ミタチ産業（3321・スタンダード）ほか	ミタチ産業は業績上方修正に伴い年間配当を 70 円→90 円に増配。ミネベアミツミ・ウシオ電機は既存株主による株式売出し（価格は 12 月上旬に決定）	売出しは新株発行ではないが、一時的な需給悪化に注意

2．注目案件の解説

ワコム（6727）：MBO で非公開化へ、TOB 価格は 1,030 円

何が決まったか：井出社長が投資ファンドの MBK パートナーズ系の MP-2611 と組み、TOB で全株取得と非公開化を目指します。報道によれば当初提案の 900 円から引き上げられた価格で、取締役会は賛同の意見を表明。大株主のサムスン電子系は、保有するワコム株をすべて応募し、買付者の親会社に議決権割合が 6.3%となるよう再出資する予定です。

条件：TOB 価格 1,030 円は、20 日終値 665 円に対して＋54.9%（筆者算出）。会社側の公表資料ベースでは 19 日終値 687 円比＋49.93%とされています。買付期間は 20 営業日、買付予定数の下限は 88,349,600 株で上限は設けません。具体的な開始日は未確定で、国内外の許認可を前提に 2027 年 2 月中旬が目安です。24 日はストップ高の 765 円で引けました。

株主がとれる対応：現時点で手続きは不要です。TOB 開始後に応募するか、市場で売却するかを選べます。応募しなかった株も、成立後のスクイーズアウトで原則として現金化されます。

論点：開始まで約 3 か月あり、許認可の遅れや対抗提案の有無で価格が動く可能性があります。24 日終値 765 円と TOB 価格の差（約 35%）は、この期間の不確実性を映していると考えられます。

I-ne（4933）：TOB 価格が株価を下回るディスカウント MBO

何が決まったか：インテグラル系のジャンボが TOB を実施。非公開化後の議決権はインテグラル側 51%・大西社長側 49%で、現経営陣が続投します。大西社長と資産管理会社（約 56%保有）は応募せず、取締役会は賛同しつつ応募は株主の判断に委ねる「中立」です。

条件：TOB 価格 2,248 円、期間は 2026 年 11 月 24 日～2027 年 1 月 8 日（30 営業日）。下限は設けず、買付予定数 785 万 7,969 株。20 日終値 2,466 円に対して約 8.8%下回ります（筆者算出）。会社は 9 月 14 日終値 1,444 円比＋55.68%と説明しています。成立後は株式併合で上場廃止とする方針で、臨時株主総会は 2027 年 3 月上旬の予定です。

株主がとれる対応：①期間内に証券会社経由で応募、②市場で売却、③応募せず保有（株式併合で現金化。裁判所への価格決定申立ての道もある）の 3 通り。TOB 成立を条件に、期末配当は無配、優待は 2026 年 12 月末基準分から廃止となります。

論点：下限がなく、創業家が過半を持つため TOB は成立する可能性が高い構図です。24 日の株価は 2,238 円と TOB 価格付近まで下がりました。価格の妥当性は、特別委員会の意見や株式価値の算定書で確認できます。

NTN（6472）・日本精工（6471）：ベアリング大手の経営統合で最終契約

要点：5 月の基本合意から進み、共同持株会社「NTN 日本精工」（2027 年 10 月 1 日設立、プライム上場予定）を作る最終契約を結びました。移転比率は日本精工 1 株→新会社 1 株、NTN1 株→新会社 0.353 株。NTN 株 100 株を持つ場合は新会社株 35 株が交付され、1 株に満たない 0.3 株分は金銭で支払われます。35 株は単元未満株となる点に注意が必要です。株主は 2027 年 6 月 25 日予定の定時総会で議決権を行使でき、反対の場合は買取請求も可能です。今すぐの手続きは不要です。

3．上場廃止・整理銘柄の動き

本日新たな整理銘柄の指定は確認できませんでした。20 日にはデジタルハーツ HD（3676）が整理銘柄、ワコム（6727）と I-ne（4933）が監理銘柄（確認中）に指定されています。今後 1 か月以内の上場廃止予定は次のとおりです（JPX 一覧より）。

上場廃止日	会社名（コード・市場）	理由
11 月 25 日（水）	サツドラ HD（3544・スタンダード）	MBO（TOB・株式併合）
11 月 26 日（木）	Sharing Innovations（4178・グロース）	Orchestra Holdings の完全子会社化（株式交換）
11 月 27 日（金）	三機サービス（6044・スタンダード）	三機シンメンテ HD の完全子会社化（株式交換）

上場廃止日	会社名(コード・市場)	理由
12月1日(火)	光・彩(7878・スタンダード)	申請による上場廃止(東証のみ。名証メイン市場では上場継続)
12月11日(金)	デジタルハーツHD(3676・プライム)	MBO(TOB・株式併合)
12月11日(金)	プロジェクトHD(9246・グロース)	他社による買収(TOB・株式売渡請求)
12月16日(水)	ストレージ王(2997・グロース)	他社による買収(TOB・株式併合)

4．今後の主な日程

日付	会社名(コード)	内容
11月24日(火)	I-ne(4933)／エムスリー(2413)	TOB開始(I-neは2027年1月8日まで、エムスリーは12月21日まで)
11月25日(水)	サツドラHD(3544)	上場廃止日
11月26日(木)	Sharing Innovations(4178)	上場廃止日
11月27日(金)	三機サービス(6044)	上場廃止日(株式交換の効力発生へ)
12月1日(火)	光・彩(7878)	東証で上場廃止(名証メイン市場では上場継続)
12月1日(火)～4日(金)	ミネベアミツミ(6479)	株式売出しの売出価格決定期間
12月2日(水)～7日(月)	ウシオ電機(6925)	株式売出しの売出価格決定期間

大阪油化工業の株式分割は基準日12月31日(効力発生2027年1月1日)。年末の休業日をはさむため、権利付最終日は証券会社の案内で確認してください。

5．用語の解説

ディスカウントTOB：TOB価格が直近の株価より低いTOBのこと。大株主が既に過半を持ち、一般株主の応募をあまり想定しない場合などに見られます。応募すると市場で売るより手取りが少なくなることがあります。

株式移転比率：経営統合で新しく作る持株会社の株を、元の会社の株1株に対して何株割り当てるかの比率。比率が1未満だと株数は減りますが、新会社での価値はおおむね同等になるよう決められます。

対象範囲：2026年11月20日(金)夕方～11月24日(火)の実行時点(18時ごろ)までに、ウェブ検索・報道等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。I-ne(17時45分)とエムスリー(17時27分)は18時直前の公表ですが、連休をはさむ重要案件のため含めました。11月24日15時以降の開示は、執筆時点で報道が出そろっておらず未反映の可能性があります。

プレミアム・ディスカウント率のうち「筆者算出」と記したものは、報道された終値から筆者が計算した値です。I-neのTOB下限なし・買付予定数、エムスリーのディスカウント率は1つの出典でのみ確認しています。ワコムの買付期間・下限・上限、大阪油化工業の新優待の開始時期と金額の単位、光・彩の名証上場継続は、公開買付者・会社の開示およびJPXの通知に基づきます。

本資料は生成AIを用いて公開情報を整理・執筆しています。

出典：日本取引所グループ(上場廃止銘柄一覧、監理・整理銘柄一覧)、株探ニュース、Yahoo!ファイナンス、日本経済新聞、みんかぶ、財経新聞、フィスコ(Investing.com・ダイヤモンド・ザイ掲載)、media-ir、BigGoファイナンス、coki

---

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。